

あき

発行日

令和6年3月31日

発行責任者

広島市安芸区

スポーツ推進委員協議会

会長

平田克士

編集

広報部

広島市スポーツ推進委員

リーダー研修会を振り返って

安芸区スポーツ推進委員協議会副会長

船越学区 則頭 悦子

広島市スポーツ推進委員リーダー研修会は、平成25年度から各区が積極的に普及に取り組んでいる種目を取り上げ、実技研修で講師を務めることになりました。安芸区スポーツ推進委員協議会が最後の担当として、令和5年6月11日(日)に、「デュアルタスク体験会」の講師を務めました。

準備過程を振り返ってみると、最後の担当区でもあり、研修内容の選定が一番の難問でした。何年間か、クロリティーを候補にあげて研修していましたが、令和4年5月、種目を再検討することになり苦慮していた時、安芸区スポーツセンター土井コーディネーター(現館長)から、矢野南学区で子どもから高齢者までを対象にした軽スポーツ体験会で行われた「デュアルタスクトレーニング」及びコーディネーション「トレーニング」を提案していただき、7月9日の定例会で決まりました。

8月9日に土井コーディネーターに、取組内容の概要、取組イメージを解説、課題の指導をしていたとき、9月5日の役員会

で、15分講義・解説をし、参加者を6グループに分け、①トントンスリスリ、指折り、グー・チョキ・パー、じゃんけん、②卓球ラケット・ボール運び、しりとりと運動課題、③ステップ手拍子、手足変則動作、④ボール遊び(てまり、背面、手拍子、ボール回し)、⑤リアクションパス(ノーバウンドワンバウンド上投げ上げ)⑥テニスボール(FCバイエルン)、ドリブルリレーを20分ごとに移動しながら、体験してもらうことに決めました。

ここからは、当日に向けて着実に動き始めました。まず各自で、インターネットやYouTubeを視聴し情報収集。①②

⑥の課題の資料を作成して共有し、10月25日、12月13日、令和5年1月17日に全員で課題の練習をしました。それぞれ得手不得手の課題があり、担当希望を確認調整して課題の担当を決定。各課題の司会進行説明内容の資料を作成し、2月21日、3月23日、4月11日に担当者が順番に進行指導、説明の発表練習と課題の実践をしました。リーダー研修会資料・解説用パワーポイントを作成し、4月27日、5月16日に全体講義、各担当が順番に進行指導、説明の発表練習をしました。講義・6課題のセッティング図面を作成し、5月30日小体育室で講義から6区分してセッティング。デジタルタイマーを使って実

践時間、移動時間の設定確認。6課題同時に実践リハールし、説明者用にパワードボイスを使用することにしました。

6月4日、小体育室で講義から湯来体育館の広さを実体験するため、3区分で2回に分けてセッティングし、実践リハール。最終確認しました。

当日は、短時間でセッティング、6回の実践指導もスムーズに進行でき、各課題とも楽しそうな声で盛り上がり上がっていました。安芸区スポーツ推進委員27名、一丸となって取り組み、一層団結力が増しました。今後いろいろな機会に、広島市各区、各学区で本研修内容が実践されることを願っています。

土井館長をはじめ、安芸区スポーツセンターの皆様にご協力をいただき、研修を無事終了できたと感謝しています。



安芸区民スポーツ大会

初めての大会役員体験

中野東学区 渡辺 桂

令和5年5月28日(日) 瀬野川公園
多目的広場にて、第44回安芸区民スポーツ大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大から4年が経ち、5月8日からは「5類感染症」となったタイミングでの大会でした。

さわやかな

五月晴れの空のもと、開会式を行ったのは4年ぶり※で、参加者の皆さんの笑顔があふれていました。

私が安芸区スポーツ推進委員に就任したのはコロナ



ウィルス感染真っ只中の令和4年で、あらゆる大会や行事は縮小または中止となっており、本当はどんな大会なのか、どのくらいの人が集まりどのような規模なのか、全く知りませんでした。なので、初めて役員として参加してみても大きな大会で驚きました。

行われる競技は、ソフトボール・バレーボール・卓球・ソフトテニス・バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール・ペタンク・クップの9つで、4つの会場にわかれて行われました。

私は学生時代にバレーボール部所属で、大人になってからソフトバレーボールに出会いました。それからは趣味の一つとなつて、今回も選手として参加しました。

参加チームは8つで、4チームごとにわかれたのリーグ戦。その後1位・2位決定戦、3位・4位決定戦が行われました。



選手のほとんどが40代・50代ですが、みなさんよく練習をされているのか、とてもすばやい動きでボールにくらいつき、まるで部活動をする学生のように輝いていました。

私のチームは残念ながら勝ち上がることはできませんでしたが、仲間と汗

第44回安芸区民スポーツ大会 競技結果

競技名	1位	2位	3位	4位
ソフトボール	中野	中野東	畑賀・矢野南	
バレーボール	中野			
卓球	瀬野	船越	矢野	畑賀
ソフトテニス	矢野南	中野東		
バドミントン	船越	瀬野	矢野南	
グラウンド・ゴルフ	瀬野A	瀬野B	船越A	矢野西A
ソフトバレーボール	瀬野	矢野	中野	阿戸
ペタンク	矢野西A	矢野南A	瀬野A	阿戸A
クップ	船越	畑賀	阿戸	

を流し、楽しくスポーツをすることができて良かったです。
この大会で選手としても、役員としても携わることができたことは良い経験になりました。

役員の皆さん、選手の皆さん、ありがとうございました。

※前年第43回大会は開会式をしていない。
第42回大会、第41回大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止。

令和5年度

広島県新任スポーツ

推進委員研修会に参加して

矢野南学区 茶島 純一

令和5年7月8日(土) 広島YMCA国際文化センターにおいて、首題の研修会が開催されました。コロナウィルス感染症が5類に移行して間もない、会場のみでの開催であったため少なめの50名が参加されました。

比元学志会長の開会挨拶に続き「スポーツ推進委員の資質と役割」について講演があり、スポーツ推進委員の制度・法的位置づけの経緯について説明後、スポーツ推進委員は地域住民と行政の調整役を担っており、その資質として①スポーツ科学・指導に関する専門的知識②専門的知識を具現化するための指導スキル③リーダーシップ、人材育成、ニーズ分析などの能力を必要とし、スポーツ推進の現場に適合活用していくことを目標としていると説明されました。

休憩を挟み、日野田麻紀推進委員(広島市)、岡本昌子推進委員(大竹市)より、「スポーツを通じたまちづくり」と各々地域での活動内容についてユーモアあふれる講演があり、スポーツを取り巻く課題として、少子高齢化、ライフスタイルの変化はもとより、スポーツの

捉え方が「競争性の協調」から「自由な遊び文化」に自発的に楽しむ運動」に変化しているため、「子どものスポーツは地域で支える」「ここにいとホッとできる場を提供する」「ここでスポーツしたから健康になった」「ここにスポーツがあるから明るい街になった」「ここをイメージして日々活動している」事を報告されました。



次に広島県スポーツ推進課より、「部活動の地域移行について」施策説明があり、教員の働き方改革の主要因である長時間労働の改善が目的で、今年から3年間の移行準備期間を経て、その一役をスポーツ推進委員に委ねていきたいとの説明がありました。説明後は本施策に対して小グループに分かれて意見交換を行い、我がグループでは「いきなり言われても厳しいよね」の意見が多く出ました。

今回の研修に参加して、大きく変化するであろうスポーツ推進委員の役割に対応するために、研修などを通してスキルアップしていくことの重要性を感じました。

日帰り研修2023夏!

瀬野学区 大亀 裕介

令和5年8月27日(日) 広島市西区のHOCにて、日帰り研修を実施しました。今年

はカヌー体験をします。朝8時に集合、快晴で穏やかな風。気温は高いですが、絶好のスポーツ日和になりました。

私たちが体験するカヌーは、2艘をつなげて8人乗りのタイプで「アウトリガー」と言うそうです。初心者でも転覆する心配はありません。お世話になったHOCの方々は、ハワイで競技に参加しているそうです。



当日参加した15名が2班に分かれて、インストラクターと共に乗船しました。

私は1班でいざ出航! 港から沖に出ました。広島島の海ってキレイになりましたね。久しぶりの海で胸が高鳴ります。

ここで、基本的な漕ぎ方を教わります。メンバー全員が同じ側で息をそろえて漕ぐことがポイントだそうです。右側13回漕いだ後の14回目「フォア」という掛け声と共に左側にスイッチ。これを左右交互に繰り返し行います。最初はメンバーの息を合

わすのが難しくてなかなか前に進みません。パドルが重いつ。ほどなくして上腕二頭筋が悲鳴を上げてきました。

次第にチームワーク



も整ってコツをつかみ、全員の漕ぐタイミングがそろった時は、海の上を「滑る」という感覚がピタリ。パドルも軽くなりグングン前に進んで行きます。しばらくして沖に來たので少し休憩します。穏やかな波に揺られて海の上は

気持ちいい。手を伸ばすと海面に届きます。

最初は沖合の島が遠く感じましたが、予定を変更して上陸することになりました。目標が出来れば一致団結してペー

スが上がります。あっという間に到着。上陸して記念撮影します。



夏のマリンスポーツ最高です! HOC:広島アウトリガーカヌークラブ

安芸区スポーツ推進委員協議会
研修会
持ち回り研修から

出前研修へ

畑賀学区 加藤 剛

令和6年2月4日(日) 今年度当番学区の畑賀小学校体育館で、安芸区スポーツ推進委員協議会研修会が開催されました。

昨年度での同研修会は、安芸区9学区の体育協会会長と安芸区スポーツセンター館長・コーディネーターとスポーツ推進委員全員とそのOBで、ニュースポーツの研修及び、参加者相互の親睦を図る目的で行なってきました。開催場所を9学区で持ち回るので通称「持ち回り研修」と呼んでいます。



今年度の開催について、9月に役員会で見直しを行ない、開催場所は今まで通り持ち回りとしながら、安芸区スポーツ推進委員協議会が主催運営し、開催学区の体育協会役員または一般に募集をかけて、研修会または大会とし

て、ニュースポーツの紹介・研修を行なうことにしました。『持ち回り研修』というよりは『出前研修』というイメージです。

畑賀学区体育協会では12月の理事会で役員の他、各専門部より2名、各町内会から2名を動員するように要請し、35名の参加者を募りました。

はじめての『出前研修』本番当日、参加予定者の急な欠席があり、チーム編成をその場で変更するなど、バタバタでのスタートとなりましたが、畑賀学区より32名、学区体育協会会長7名、安芸区スポーツセンターから2名、スポーツ推進委員17名、そのOB3名の総勢61名の研修会となりました。

研修種目は「室内モルック」で、昨年度の研修と同じ種目です。昨年は自身の研修として参加しましたが、今年が、初めて体験する参加者に指導する立場として、まさにスポーツ推進委員の役割を果たすべく研修会となりました。



畑賀学区ではクッパ部の活動が盛んで、同じ投てき種目のモルックは興味を持って参加して頂けたと思います。ほとんどの参加者が初めて体験する種目ですが、モルックはルールが分かりやすいことと、ゲーム要素が高いので、すぐに各コートで歓声が上がっていました。3名、4名の各チームにスポーツ推進委員が加わり、審判をしながら、進行とルール指導を担いました。



後日参加者に感想を聞いたところ、「楽しかったよ。」と言って頂き、手ごたえを感じています。兼崎会長からも「来年度は畑賀体協でモルックの大会を開催しようか。」との発言もあり、早くも研修会の成果が出てきています。



【令和5年度表彰者紹介】

○中国地区スポーツ推進委員協議会表彰

功労者表彰 中野学区 東 隆彦

○広島県スポーツ推進委員協議会表彰

功労者表彰 中野東学区 井上一也

感謝状 瀬野学区 金子富美江

感謝状 阿戸学区 村上美幸

感謝状 船越学区 今井香織

○広島市学区体育団体連合会表彰

功労者表彰 船越学区 今井香織

編集後記

「広報あき」第37号をご覧いただきありがとうございます。一年間の行事の中で、広報部が記録に残したいトピックを記事にしたためました。その中でも令和5年度、安芸区スポーツ推進委員協議会にとって一番のイベントは、1面の「広島市スポーツ推進委員リーダー研修会」です。令和4年8月から準備を始めて、10か月という長い期間でトレーニングしたのは、最初で最後になるかもしれません。団結力と達成感を感じる事ができた年でした。令和6年度もよろしく願います。

広報部 一同

